

ぬくもり

2026年3月2日(月)

7年学年主任責任編集発行

まちがったって

7年生最後のテストが終わり、とうとう3月に入りました。1か月後には進級して8年生です。年度の終わりを迎えるにあたって、先週、中之島小学校では授業参観が行われました。どの学年も、自分たちがこの1年でできるようになったことや、やり遂げたこと、成長したことを発表していました。その参観の中で、3年生が大きく元気な声で行っていた群読がすごく印象に残っています。本当は全部紹介したいのですが、ここでは冒頭の一部を紹介したいと思います（聞いたことがある人も必ずいるはずです）。

「教室はまちがうところだ」 (出典「教室はまちがうところだ」(時田晋治 作/長谷川知子 絵/子どもの未来社 発行))

教室はまちがうところだ みんながどしどし手をあげて
 まちがった意見を言おうじゃないか まちがった答えを言おうじゃないか
 まちがうことをおそれちゃいけない まちがったものをわらっちゃいけない
 まちがった意見を まちがった答えを ああじゃないか こうじゃないかと
 みんなで出しあい言いあうなかでだ ほんとのものをみつけていくのだ
 そうしてみんなで伸びていくのだ いつも正しくまちがないの
 答えをしなくちゃならんと思って そういうことだと思っているから
 まちがうことがこわくてこわくて 手をあげないで小さくなって だまりこくって時間がすぎる
 しかたがないから先生だけが勝手にしゃべって生徒はうわのそら
 それじゃあちっとも伸びてはいけない
 神様でさえまちがう世の中 ましてこれから人間になろうと



しているぼくらがまちがったって なにがおかしい あたりまえじゃないか
 先生は授業中でも、テストでもみんなの間違いの中に成長の種があると考えています。間違ったことや失敗したことって印象に残っていませんか？その間違い・失敗と自分自身で、または仲間と共に向き合い、考えてることで、成長していくのだと思います。まずは、この学年末テストで、間違ったこと・失敗したことを自分自身で、時には仲間や先生の力を借りながら考え、振り返り、8年生に向けて、力をつけて成長してくれることを期待しています。

素直さ・縁(仲間)・考え続けること(思考)を大切にする ⇒ あったかい学年に!!